

# 自然の

⑤



カルガモ

木枯らしにのって落ち葉が舞う季節となり、森はようやく静かになる。やがて霜が森や広場に降り、霜柱が日毎に深くなる。森の小道は、落ち葉が散り敷き、天気の良い朝は黄金色に映える。そんな朝、シジュウカラ、エナガ等が丹念に落ち葉を裏返しにして、エサをあさる。12月も半ばを過ぎると、朝の気温は-2℃から-4℃に下がり、池が結氷する。狭い解氷面には、カルガモがよく遊びに来る。晴れた日の朝、展望台へ登って見よう。根張り豊かな白く巨大な富士山、宝永の噴火口が三つともよく見える。愛鷹連峰、遠く天城まで望める伊豆の山々、北側へ目を移すと毛無山から天子ヶ岳、安倍奥の連山、そして、白くまぶしく輝く白根三山。クリスマスが近づく頃、森に初雪が静かに舞う。

## ぼくの作品 わたしの作品



「お船に乗って」のお話と、動物園のライオンの絵を描いてくれた、南幼稚園のおともだちの作品を紹介します。



やまもとひろふみ

船に乗ってアメリカへ行きたいなー。だけど、英語がわかんない。あやちゃんとおかあさんとおとうさんも、つれていきたいなー。

すぎもとともみ



動物園に行ったら、ライオンが大きくて、一番強そうだったよ。おとうさんライオンにたてがみがあったよ。



## 薬草のおはなし②②

薬草名 ヒキオコシ  
えんめいそう  
 生薬名 延命草  
 薬効 健胃



その昔、弘法大師が山道を行くと一人の行者が倒れていた。大師は近くに生えていた草をちぎって、そのしぼり汁を口に含ませたところ、行者はたちどころに回復し、元気になって旅を続けた。この故事によって起死回生の妙薬として、ヒキオコシや延命草の名前がついたという伝説がある。

秋、地上部を刈り取り、日干しにする。乾燥した延命草10gをせんじて飲むか、粉末にしたものを1回2g服用すると健胃によい。

薬草のおはなしは、今回で終了させていただきます。広見荘薬草部のみなさん、ありがとうございました。